

消費者月間統一テーマ

1. テーマ

明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費
～どのグリーンにする？～

2. 趣旨

毎年のように記録的な大雨や高温など異常気象の影響による災害が発生しており、私たちは地球温暖化による気候変動の影響をひしひしと感じています。地球温暖化の責任はほぼ全面的に我々人類にあると言われており、私たちの日々の行動を見直していくことが不可欠となっています。人類の行動の一つである消費行動においても、これは例外ではありません。

かけがえのない地球を守り、持続可能な社会を将来世代に引き継いでいくためには、私たち消費者が、自身の消費行動は地球環境の持続可能性に影響を及ぼし得ることを自覚した上で、地球環境に配慮した消費行動を選択していくことが求められています。

一方で、消費者の皆さんの地球環境問題への関心は高い一方で、実際の消費行動は必ずしも環境に配慮したグリーン志向の消費行動を選択していないという実態があります。

しかしながら、私たちの身近な周りを見回してみると、地球環境の持続可能性に影響を与え得る消費行動はたくさんあるのではないのでしょうか。

どんな消費行動が地球環境にとって良い行動なのか、ご自身の消費行動を振り返ったり、考えたり、話し合ったりする機会を作ってみませんか。そして、地球環境に配慮したグリーン志向の消費行動をみんなで始めてみませんか。

そこで、令和7年度の消費者月間においては、「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費～どのグリーンにする？～」を統一テーマとして掲げます。さあ、みんなで地球を守る消費行動を始めましょう！

過去の消費者月間統一テーマ一覧

年 度	統一テーマ
昭和 63 年	「消費者の主体性の確立を目指して」
平成元年	「豊かな生活を創る」
平成 2 年	「明日の生活文化の創造」
平成 3 年	「ゆとり，安心，多様性のある生活をめざして」
平成 4 年	「地球を見つめた暮らし」
平成 5 年	「くらしの安全，心のゆとり」
平成 6 年	「かしこい選択，ゆたかな生活－新時代の消費者像を求めて－」
平成 7 年	「確かな選択，ひろがるくらし」
平成 8 年	「活かそう情報，暮らしの中へ」
平成 9 年	「ともに創ろう 明日の暮らし－規制緩和と自己責任－」
平成 10 年	「学び，考え，行動する－ともに築こうくらしのルール－」
平成 11 年	「たしかな情報 かしこい選択－ともに創ろう新時代－」
平成 12 年	「考えよう みんなが結ぶ契約」
平成 13 年	「新世紀をかしこく生きる ～活用しよう消費者契約法～」
平成 14 年	「安全・安心に暮らせる社会をめざして」
平成 15 年	「みんなで考えよう くらしとルール」
平成 16 年	「しっかり選ぼう 消費者の知恵で」
平成 17 年	「活かそう権利 めざそう自立」
平成 18 年	「知恵と勇気で 消費者被害を防ごう」
平成 19 年	「みんなで築こう 身近な安全・安心」
平成 20 年	「活かそう 消費者・生活者の視点」
平成 21 年	「消費者新時代 消費者が主役」
平成 22 年	「守ろうよ、みんなを！ ～なくそう！高齢者の消費者被害～」
平成 23 年	「地域で広げよう 消費者の安全・安心」
平成 24 年	「安全・安心 いま新たなステージへ」
平成 25 年	「学ぶことからはじめよう ～自立した消費者に向けて～」
平成 26 年	「つながろう消費者 ～安全・安心なくらしのために～」
平成 27 年	「みんなでつくろう！ 消費者が主役の社会！！」
平成 28 年	「みんなの強みを活かせ ～安全・安心な社会に一億総活躍」
平成 29 年	「行動しよう 消費者の未来へ」
平成 30 年	「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない～」
平成 31 年	「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない2019～」
令和 2 年	「豊かな未来へ ～『もったいない』から始めよう！～」
令和 3 年	「“消費”で築く新しい日常」
令和 4 年	「考えよう！大人になるとできること、気を付けること ～18歳から大人に～」
令和 5 年	デジタルで快適、消費生活術 ～デジタル社会の進展と消費者のくらし～
令和 6 年	デジタル時代に求められる消費者力とは